



木曽林務課だより 12月

木曽のスキー場のオープンの便りが届きはじめ、本格的な冬の到来を感じるようになってきました。今回は、東京ビッグサイトでの木製品展示イベントについて報告します。

「WOODコレクション(モクコレ)令和元年」 で木曽の木工製品の魅力を発信しました。

木曽の木材をより付加価値を高めて県内外に売り出そうと、昨年度木曽地域振興局では「木曽地域の林業・木材産業の高付加価値化に向けてのロードマップ2018」を策定しました。

このロードマップに基づき、12月10日～11日の間に東京ビッグサイトで行われました「WOODコレクション(モクコレ)令和元年」に参加して、南木曽町のろくろ細工、上松町のあじろ、桶樽、木曽ヒノキ製品などの木曽の木材製品の魅力発信を行いました。

この展示会は、建築士や設計事務所、商社・卸売・官公庁等の発注機関などの、木材利用のプロの方を対象に開催されている木材関連の製品提示会で、そのなかでも木曽の木材を活用し卓越した技術を活かした、木曽の木材製品は高い関心を集めていました。

中には、某自動車メーカーの設計者が、車のインパネに天然木の「木曽桧」、「信州プレミアムカラマツ」を活用してみたい等々の様々なご相談などもあり、今後の販路開拓につながることを期待されます。

